

平成 28 年度不來方高等学校学校経営計画

<校 訓>

自由 創造 飛翔

<教 育 目 標>

- 真理を求め、自ら主体的に学ぶ人間を育てる。
- 自他を愛し、ふれあいを深め協力しあう人間を育てる。
- 勤労を重んじ、強固な意志と強健な体力を持つ人間を育てる。

<目指すべき学校の姿>

- それぞれの個性や能力を活かした生徒一人ひとりの目標実現に向け、基礎学力の定着を図るとともに、学系に応じた専門教育の向上を目指す。
- 逞しく生き抜く力の育成と知・徳・体の調和のとれた人間形成に向け、高いレベルの文武両道の実現を図る。
- 生徒が誇りを持ち、地域や保護者に愛される学校づくりを推進する。

<保護者のニーズ>

- 進路志望の実現
- 部活動における成果
- 学習習慣の確立、学力向上
- 基本的な生活習慣の確立
- 学校からの情報提供と保護者の意見反映

<生徒のニーズ>

- わかる授業と基礎学力の定着
- 能力を活かした進路目標の設定とその達成
- 部活動や学系活動など高校生活の充実
- より安全で快適な学校環境の整備

<地域のニーズ>

- 地域の発展に貢献できる人材育成
- 文武における高いレベルの活躍
- 地域の児童生徒の模範としての行動
- 地域活動への積極参加

<学校や地域の特色>

- 不來方高校は、社会の変化に主体的に対応できる能力を育成するとともに、生徒の個性を伸ばす教育を推進するため、普通科に人文学系・理数学系・芸術学系・外国語学系・体育学系を設ける特色ある学校である。
- 矢巾町内唯一の高等学校であることから、地域とのつながりは強く、期待感も大きい。また、学校周辺には岩手医科大学、産業技術短期大学校の高等教育機関があり、教育環境は良好である。
- 四年制大学への進学率が高く、難関国公立・私立大学への進学者も出ている。また、学系の特色を活かした進学の結果も十分に現れている。
- 運動部、文化部とも活動は活発で、その成績は全国レベルの活躍をしている。また、ボランティア活動にも、部・委員会活動、また、個人として積極的に取り組んでいる。
- 今年、開催される希望郷いわて国体の強化指定に8つの部が指定され、競技力向上の中核となる学校である。さらに、生徒が希望郷いわて国体、希望郷いわて大会の運営に、補助係員等として関わることを期待されている学校である。

平成28年度重点目標

生徒の学力向上と 教員の授業力の 向上

1 学力向上

- 45分7校時の完全実施と年間を通じた授業時間の確保により、生徒の基礎基本の確実な定着を図る。
- 課題等の出し方を工夫し、適正な家庭学習時間の確保を促すなど学習習慣の定着を図る。
- いわて国体、いわて大会の選手強化、準備・運営と並行しての学力向上対策を行う。

2 授業力向上

- 授業力向上週間を設定し、教科研修を充実するとともに、他校への訪問研修等もを行いながら授業力向上を計画的に推進する。

3 読書習慣の確立

- 朝読書時間を設定するとともに、授業や放課後における読書指導により、読書習慣の定着を図る。

生徒指導の充実と 生徒の自立性の 向上

1 生徒指導

- 組織力を活かした適時的確な生徒指導により、規律ある生活が出来るようにする。
- 不來方高生としての自覚と誇りを涵養し、その行動について継続的に指導する。
- いじめ防止の校内体制を充実する。

2 自立性の育成

- 生徒会（各種委員会）活動を通して、自立性、社会性の涵養と主体的に判断できる能力の育成に務める。またその支援体制の充実を図る。

3 部活動の活性化

- 高いレベルにある部活動実績のさらなる飛躍を目指し、生徒の心技体のバランス良い向上を図るとともに深い友情を育む。
- 指導者は有効で効果的な練習方法の開発・実践に務める。

進路指導の充実と 学系の特色を活か した実践の推進

1 進路指導

- 個に応じた丁寧な進路指導により、生徒の進路志望を早期に確立させ、その達成に向け組織的な支援を行う。
- 計画的な模試の実施と分析・評価等により進路対策を強化する。
- 学系の特色を活かした進路対策を実践するとともに、進路先の開拓を行う。
- 地域を活かしたキャリア教育の充実を図る。

2 学系の実践

- 生徒が持つ文化・芸術・語学・体育などの多彩な能力や資質を高めるため、各種コンクールや大会等への参加を奨励する。
- 国際交流活動の積極的な実践により国際理解を深め、グローバル社会に対応する人材の育成に努める。

健康・安全教育の 充実と家庭・地域 との連携

1 健康・安全教育

- 情報提供や食育等により、健康や安全についての理解を深めさせ、主体的に健康の保持・増進や安全な生活が出来るようにする。
- 諸機関との連携を深め、悩み等を抱える生徒の支援・援助を的確に行っていく。
- 「いわての防災スクール」実践校として実践的安全教育を行う。

2 地域等連携

- PTA・教育振興会等との協力・連携を推進する。
- 地域のボランティア活動や福祉活動に積極的に参加する。

3 復興教育等

- 学校の実態に即した復興教育プログラムに取り組む。
- 生徒・PTA・同窓会が一体となって、復興支援活動を推進する。

平成 28 年度 主な目標指標

保護者の学校満足度 (総務)	98.0%以上
生徒の出席率 (教務)	99.1%以上
年間の生徒皆勤率 (教務)	各学年 40%以上
平日の家庭学習時間が2時間以上の生徒割合 (教務)	各学年 30%以上
「授業の内容がわかる」と答えた生徒割合 (教務)	66%以上
	(2年英語・数学)
「人が困っているときは、進んで助けている」と答えた生徒割合 (生徒指導)	82%以上
自分には良いところがあると思っている生徒割合 (教育相談)	60%以上
4年制大学志望者の達成率 (進路指導)	90%以上
国公立大学の合格者数 (進路指導)	70人以上
就職希望者の就職率 (進路指導)	100%
心臓・貧血・尿検査要受診者の受診率 (保健厚生)	心臓・尿 100%・ 貧血 70%以上
図書の間年利用冊数 (図書)	2,500冊以上
電気・水道・灯油・重油等の使用量 (事務)	前年度実績の維持